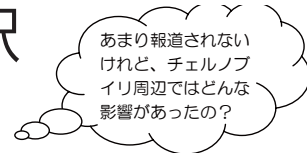


【ものづくり 人づくり 地域づくり】『チェルノブイリ健康影響』 母親による翻訳完成
福島原発事故から間もなく2年
チェルノブイリ原発事故から 25 年後を知り、対処する

お待たせしました！

常総生協翻訳プロジェクトの完訳
『**チェルノブイリの健康影響**』



発刊です！

脱原発くらし見直し委員会 委員長 高橋麻理

日本で原発事故が起こるなんて想像もしていなかった私たち。でも、福島原発事故は現実に進行中です。茨城県南部と千葉県東葛地区は、福島原発から 150 km 以上も離れているのに予想外に汚染されてしまいました。これまでと現在はもちろん、これから先のことが心配です。

「チェルノブイリの健康影響」は、1986 年のチェルノブイリ原発事故から 25 年間のヨーロッパでの健康影響をドイツの専門家がまとめたものです。翻訳文は読みにくいし、報告書は専門用語が多くて難しいですが、子供や自分たちの将来を考えたら知っておかなくてはいけないことがたくさんあります。欧州と日本の食生活・習慣の違いや 25 年間の科学技術の進歩から、この本の内容すべてが日本に当てはまるわけではありませんが、参考にできることは多いです。

私たち脱原発くらし見直し委員会・翻訳プロジェクトは翻訳にあたり、わかりやすさを心がけると共に、本文のほかにも、専門家でない一般の人にも理解しやすいような用語解説や地図を加えました。また、常総生協独自の調査結果も盛り込みました。是非一度、お手にとってごらんください。そして、読んだ感想やご意見を生協までお寄せください。

私たちの活動はこれだけでは終わりません。翻訳本についての勉強会や第 2 版以降の発行も考えています。本を読んで一緒に考えていきましょう。



頒価 500円（税込）
申込は中面 2P 下で

【今週のニュース】

- (1～3P) 『チェルノブイリの健康影響』 翻訳完成！ (2P) ご案内と申込書
- (4P) 組合あげて子どもたちの健康調査を「常総生協 子ども健康調査支援基金」設立。ご協力を！
- 【別刷】脱原発くらし見直し委員会だより (第15回)

母親たちの手で翻訳・編集しました

事故を防げなかった大人の責任として、子どもたちの未来のために

この本を読んでください

チェルノブイリ翻訳プロジェクト編集委員長 茂田初江（龍ヶ崎市）

枝野官房長官の「直ちに影響はありません」がすべての行動の始まりでした。

インターネットでは、スイス気象台が毎日放射能の拡散予測を出し、小佐古内閣官房参与が20mSvに抗議して辞任、後の児玉教授の涙の意見陳述もネットで知りました。日本政府、そしてテレビ・新聞などマスメディアはいつまで経っても正しい情報を伝えない。彼らが第一に守りたいのは国民の命ではないのだという真実が見えたとき、情報は自分で見つけ出すのだと悟りました。

そんな思いの組合員が集まって、脱原発委員会が発足しました。若いメンバーは次々と新しい情報を提供し、古くからのメンバーはチェルノブイリの時の経験を語る、そして必要な情報は知識となっていきました。この中で、正しい情報は外国から発せられる現実、日本では翻訳さえされていない貴重な情報があることを知りました。

今では翻訳も幾つか出ていますが、この核戦争防止国際医師会議（IPPNW）ドイツ支部による論文「チェルノブイリの健康影響」では、真実を探らなければ最善の対策は生まれてこないと信じた医学者たちが事故以後25年間の臨床研究をまとめて数値化し、冷静にしかも科学的に被害を告発しています。今も福島の実地への提言を次々と出し続けている彼らの言葉と実践は信頼に値します。

この事実は多くの若いお母さんたちと、かつて子どもを大事に育てた人たちに知らせなければいけないと、素人ながら組合員有志が分担して翻訳しました。医学論文ですから、読みにくい本ではありますし、誤訳もあることですが、事故の概要や用語解説、福島の実地との比較などを加えて、私たちの目の前の問題に取り組む手助けとなるよう、約1年かけて、校正編集してきました。

被災国ウクライナからの報告では、ある母親は子どもが小さい頃から放射線に関する知識を伝えてきたとのこと。『自分を守るために必要なのよ。いざという時に何をしなければいけないかを知っていて、それを恐れることがないように』という彼女の言葉は、かわいい子どもや孫を持つ私たちすべてに向けられているかのようです。

まずこの本を読んで真実を知り、子どもたちのために出来る限りの対策を考え、実践していきましょう。国や県、市が、健康調査を継続して実施するよう、みんなで働きかけていきましょう。

原発はすべて廃止を目指し、原発に頼らない生き方を実践しましょう。事故を防げなかった私たち大人には、子どもたちの未来のために行動する責任があります。

.....きりとり.....

『チェルノブイリ健康影響』 翻訳本・ミニパンフ申込書

(申込) ①翻訳本本紙 (頒価 500 円 税込) _____冊
②ミニパンフレット (頒価 50 円 税込) _____冊

※商品代と一しょに請求、自動振替させていただきます。

(コース名) (班名) (組合員No.) (氏名)

『チェルノブイリの健康影響』 翻訳もくじ

第Ⅰ部 この本を読むにあたって

第Ⅱ部 チェルノブイリの健康影響

1. はじめに (事故概要・汚染地図・用語解説集)
2. 事故処理作業者
3. 乳児死亡率
4. 遺伝的・催奇形性損傷
5. 甲状腺がんその他の甲状腺疾患
6. すべてのがんおよび白血病
7. その他の疾患

第Ⅲ部 福島原発事故から1年半で見えてきたこと

参考資料、常総生協の取り組みから
翻訳あとがき



翻訳・編集作業中のチームメンバー

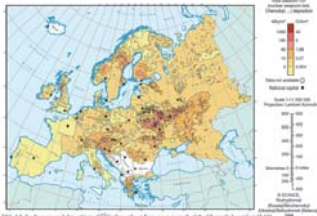
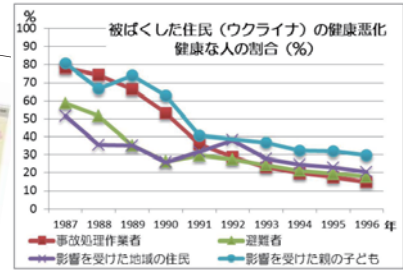


Fig. 1.3. Average annual deposition of ¹³⁷Cs from fallout from the Chernobyl accident (1987-1988)



同時発行！ミニパンフレット「福島原発事故から1年半で見えてきたこと」 ～チェルノブイリの健康影響の報告から学ぶ～



ミニパンフレットもくじ

ゴメリ市周辺の子どもたちに新たに発病した病気。でも本当に比較していいのかな？

1. 汚染をくらべる (土壌沈着)
2. 飲食物 (食文化) をくらべる
3. 生活スタイルをくらべる
4. 健康実態をくらべる
5. チェルノブイリ事故から「25年後の健康影響」報告をみる
6. わたしたちの考え・・・
今わたしたちにできること

放射能に負けない
身体づくりの
レシピ付き！→

塩糖けり
手元にあるサラダに出来る野菜を何でも千切りにして、野菜の量の1割くらい塩糖をまぶして一晩くらい冷蔵庫で漬かせる。
・緑や赤の野菜でカラルになるように野菜を選ぶ
・数日は冷蔵庫で保存できる

頒価 50円 (税込)
申込は中面 2P 下で

今週同封されている
「脱原発とくらし見直し委員会」
だよりも見てね！

